

JS研究報告会の開催趣旨について

日本下水道事業団(JS)では、第5次中期経営計画(計画期間：2017～2021年度)に掲げる、JSの二つの役割を着実に果たすため、**JS自らの財源により安定的かつ継続的に調査研究を実施し、地方公共団体に成果を還元**することを目的として、「基礎・固有調査研究の中期計画」(計画期間：同前)に則り、**基礎・固有調査研究を実施**しており、本年度は計画期間の最終年度にあたる。

本日の研究報告会は、**成果還元の一環として、5ヶ年度にわたる調査研究成果の一部について報告**するものである。

なお、全ての調査研究テーマについて、JSのホームページ上で報告書を公開する予定(2022年3月末頃)である。

基礎・固有調査研究の種類とテーマ一覧

第5次中期経営計画に掲げるJSの役割	基礎・固有調査研究の種類		調査研究テーマ 赤字：本日報告の関連テーマ
下水道ソリューションパートナーとしての総合的支援	固有調査研究	コア技術	【5テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 改築・更新等を契機とした水処理の効率化、省エネ・維持管理性向上 ● 中小都市向け汚泥燃料化・肥料化等、地域の実情に応じた汚泥利活用 ● 汚泥処理の広域化、地域バイオマスの活用等によるバイオマス利活用促進 ● 人口減少等に対応した小規模低コスト水処理技術 ● 有機酸・炭酸劣化対策による施設長寿命化
		標準化技術	【5テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 脱水汚泥の低含水率化による維持管理の効率化 ● 紫外線消毒の消費エネルギー削減による普及促進 ● 既存施設活用による改築更新円滑化・処理能力増強 ● 硫酸腐食対策の充実による施設長寿命化 ● 新技術を活用した下水処理場のエネルギー最適化
下水道ナショナルセンターとしての機能発揮	基礎調査研究	先導技術	【4テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 更なる省エネ・創エネ・低コスト化に資する次世代処理技術 ● 水素利活用技術の開発等による下水道資源の活用 ● 希少金属回収技術等、下水道資源利活用 ● AI・ICT等を活用した管理の効率化・自動化技術